



# 大阪歯科

大阪府歯科保険医協会  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/

10/25  
2011年第1089号  
(毎月5、15、25日発行)

# 「食」を守る賢い生活者に

保険でよい歯科診療を  
大阪連絡会

## 「食育」テーマに市民講座開く

開会のあいさつで代表世話人の小澤力理事長は、政府の増税・社会保障改悪路線を「私たちの願いと真向から対立する方針だ」と批判し、「歯科医療充実と被災者支援のために『保険でよい歯科』運動に全力を尽くそう」と訴えた。

歯科医療関係者や市民らでつくる「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」は、16日に市民講座「いのちの食育」(大阪府・大阪市後援)をM&Dホールで開いた。講師は、大阪千代田短期大学非常勤講師で家庭栄養研究会顧問の山崎万里氏。原発事故による農作物の放射能汚染で不安が広がるなか、「身を守る食へ方」について88人が学んだ。



TPP参加は「生命よりも金もうけ」路線で日本食を破壊すると説明する山崎万里氏  
=16日、M&Dホール

「どのようか」に着目。食物をバランス

長く体に供給するため、「多品目少量を基本とした日本食の良さを捉え直すべき」と話した。排せつ面では、便で食生活を点検する方法を解説。また、食べ物からの内部被曝を抑えるため、自身が編集する雑誌『食へ物通信』の特集記事を示し、食事方法をアドバイスした。

日本は戦後、日米安保条約の経済条項によって米国の余剰農産物の輸入を押し付けられ、食糧自給率を低下させてきた。山崎氏は、「日本食の伝統を壊し、健康に悪影響を与えている」と批判した上で、TPP問題について言及。日本が参加することになれば、遺伝子組み換え食品の表示義務がなくなり、使用認可添加物が4倍に増える

とし、「TPPは『生命よりも金もうけ』路線の総仕上げであり、日本人の味覚・嗜好・食文化の最終破壊につながる大問題だ」と強調した。最後に、「TPPでも放射能汚染でも、今の日本は食糧を通して国民の健康を守るとは真逆の状態。その共通項の上に立ち、一緒に食の安全を守る賢い生活者になろう」と呼びかけた。

後半はグループに分かれ、感想を出し合った。参加した市民は「一般的な食育の話だけでなく、政治やグローバルな視点で聞くことができて勉強になった」。歯科医師からは「医療人として、食に対する正しい知識を広めていくことが大切だと感じた」などの声が寄せられ、好評だった。

「偽りの『財政危機』論」「破産会社」一転、「府の借金少ない」

大阪府の借金残高は、実は少なかった。これまで財政危機を主張してきた橋下知事が一転、府のホームページで「府の借金は、ほかの都道府県と比較すると少ない」ことを明かした。「破産会社」や「財政非常事態」と叫んでいたのは何だったのか。「財政危機」論を振りまき、「脅し」ともとれる手法で府民に社会保障削減を迫り、強行してきた責任が問われている。

橋下知事が主張を転換したのは、大阪市から府債残高の膨張を指摘されたことを受け、反論の必要に迫られたからだ。府は、2008年度から11年度までの4年間で、府債残高を5175億円増の5兆3910億円に積み上げている。

11年5月、府のホームページの「知事の主張」で突如、「自治体の財政構造・財政運営が健全かどうか」ということは、類似の他の団体と比較してどうかという分析が必要」と述べ、愛知県や京都府、兵庫県など9府県との比較を掲載した。結果は、一人当たりの地方債残高は神奈川県に次いで少額だった。同様に、全国平均と比較した数値も公表。「歳入総額に対する地方債残高の比率」と「一人当たりの地方債残高」のいずれの数値も平均を下回った。

現府政が大幅な社会保障の切り捨てを進めた大前提は、「財政危機」だった。「福祉削減やむなし」と、府民に「痛み」を求める「改革」を断行。その裏で、WTCビル購入や関空の二期工事高埋め立てなど、関西財界の意向に沿って大型公共事業に湯水のごとく税金を投入し、借金を増やしてきた。結局、橋下知事の偽りの「財政危機」論は、福祉を削り、大型公共事業を手厚く保護・推進するための口実に過ぎなかったのが実態だ。

橋下知事の感情に訴える独裁主義的な政治手法は、ファシズムになぞらえ、マス・メディアから「ハンズム」と揶揄されている。意図的に財政危機論を流布し、意のままに府政を操ってきた橋下知事。府政「改革」の根本から「ウソ」が明らかになったいま、真摯に府民の声を耳を傾け、府民の生活改善のために尽くす新しい府政への転換が切実に求められている。

診療前や会計待ちの患者さんに、もれなく署名をお願いしている。窓口のスタッフにも署名を理解してもらい、必ず呼びかけるよう頼んでいる。患者さんは「安くなったほうがいっぱい、老若男女に



### リレー投稿

## 患者のために堂々と

理事 寺嶋 洋幸

### 保険でよい 歯科医療を 求めて

関係なく心してくれる。患者さんに署名をお願いするのは、「煙たがられるのではないかと押し付けがましう受け取られないか」と踏み出せないでいる先生方もいると聞く。私は、患者さんの利益になる運動に取り組みからこそ、患者の立場に立つ

だ「保険でよい入れ歯」の署名では、全国の地方議会まで「保険でよい入れ歯」を求める意見書が採択されるなど、国民的な運動になり、94年の診療報酬改定で義歯を改善させた。現状を変えるために私たちができる身近な活動は署名しかない。国民の声を集めて国に届けたいことが一番の近道である。

私の取り組みは端緒にすぎたところだ。先日は往診先の介護施設でケアマネやスタッフにも署名してもらった。行く先々で気軽に堂々と呼びかけたいと思う。

### 財政の健全さをアピールする府のホームページ (抜粋)

(3)大阪府の借金は、他の都道府県と比較すると少ない

そもそも、広域自治体と基礎自治体では、役割や税取構造、行政サービスと、私は全く意味がないと思っています。先ほどの臨時財政対策債本来、その自治体の財政構造・財政運営が健全かどうかということは、大阪府では、一昨年、大阪府と財政力が同程度の府県に加え、財政力、岡山県、愛知県、京都府、兵庫県、福岡県、秋田県、徳島県、島根県)の借高を比較したところ、大阪府は神奈川県に次いで低くなっていました(平均)

	歳入総額に対する地方債残高の比率	一人当たりの地方債残高
大阪府	1.62	約50万円
都道府県平均	1.67	約63万円

大阪府HPから作成

この秋、地デジ後のテレビ等通信機器の新製品開発競争がし烈になってきているが、ひょっとするとあの「ほんやり甥っ子」がノーベル賞候補にリストアップされているんじゃないかと想像を馳しむ秋でもある。

【3面】  
大阪市長選予定候補・わたし考一氏との政策協定全文

【4面】  
大阪市長選特集

## ダブル選挙

橋下府政・平松市政を検証

### 歯科医療危機打開決起集会

#### ～□から見える格差と貧困～

保団連や「保険でよい歯科医療を」全国連絡会など歯科医療関係団体は、歯科医療改善を目指して東京で決起集会を開きます。ご参加くださいますようお願いいたします。

日時 10月30日(日)午後2時～4時  
(午前11時から新宿駅前街頭宣伝)

会場 あいおい損保新宿・地下ホール  
※お申し込みは協会事務局まで  
(06-6568-7731)

※参加者には交通費、昼食費、行動費を支給。家族・スタッフも参加できます

歯界 医学部、歯学部出身者は、ほとんど誰も国家公務員(一種(上級甲))の試験を受けたらない。

この合格者は俗にキャリア組と言われ、日本の行政官僚の根幹を担っている(牛耳って)いる。

特別な専門教育を受けていないノン・キャリアでもトップにまで上がれる職種は数多い。個人事業主はその典型で、医者、作家、政治家もそうだ。

意外なのは、物理や化学などサイエンス分野に何人もノン・キャリアのノーベル受賞者がいることだ。

仕事には多くの協力者や組織力が必要な部門もあれば、そんな物は陳腐な常識や固定観念で個人の才能や独創性を邪魔するだけで何しようとするだけ、とく事が最大のサポートになる分野もある。